

令和4年3月 自己評価結果（ノビルキッズ蘇我校）

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 ＜アンケート調査：R4/11/20～R4/11/30＞	事業所の取り組み状況改善の方針等 ＜方針検討：R4/12/1～R5/1/18＞
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	・休日の開所時間がもっと長くなると助かります。	・なるべく保護者の方の負担が少なくなるよう送迎や支援のお時間を可能な範囲で調整させていただきます。お気軽にご相談ください。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	・様々な先生がおり引継ぎの状況が気になります。	・毎日の朝礼や月次の事業所ミーティングにて、目標・支援方針の確認を行っています。 ・連絡事項の把握を徹底するため、マニュアル作成し、今後も担当者を配置しスタッフへきちんと共有して対応できるように努めてまいります。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	・子供の能力が成長したと実感できるような指標はありますか？	・相談支援事業所など関係機関との連絡調整も行いながら定期的にアセスメントを行い支援計画を作成しています。統一したアセスメントシートを使用しています。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	・子供は先生方やおともだちと楽しく過ごせたりしていますが、保護者はHUGを通してでしか先生方と交流できず、送迎の時もあり話せないで、以前に比べて距離感を感じて、何かあっても相談しにくいと感じています。 ・学校以外に外での子供の様子を聞ける場ができて良かったです。送迎の際に職員の方が細かく教室での様子を教えてくれるので、その話を聞くのをいつも楽しみにしています。 ・職員が変わるときはお知らせが欲しい。 ・職員の方々の説明が不足していると感じることがある。 ・若くて元気で一生懸命、成長が伝わってくるスタッフに会うことが増えたので、今後は期待しています"	・毎回の支援の記録、支援経過の記録等について、毎回または必要に応じてフィードバックを行っています。定期的に活動中の写真も提供しています。 ・足並みをそろえて支援を継続していくことができるように努めてまいります。 ・教室からのお便りを発行し、送迎時以外にも活動の様子をご覧頂けるような取り組みを実施します。 ・職員の入れ替わりがあった際には事前の周知と写真付きお便りの配布、送迎時等のご挨拶を行うことができるようにしてまいります。 ・職員への研修は必ず月に1度以上行っており、多方面の分野の研修となっています。報連相や支援に必要なコミュニケーションスキルの強化ができる形で職員のスキルアップを図っていきます。
	学校との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	・サービス利用に関しては、大変満足している。送迎時にもスタッフの方ともコミュニケーションが取れ、様子がわかる。また、ハグでの連絡もいつも早急に対応してくださり、安心している。いつもありがとうございます。 ・参観的な事をZOOMなどで良いので、参加している様子が観たい。	・現在は毎月会報の発行と、プログラム予定表の案内を行っています。 ・普段の様子をご覧いただけるような機会を設けることができるか検討してまいります。
	苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	・幼、保育園バスの児童置き去り死亡事件が続いており、自分の子供もきちんと教室に入ったのか心配になることがある 幼稚園保育所など出席確認をしていれば防げる事故で、当然やっているとっていたことがなされてなかったことを知り、出席数確認を徹底しているなどのアピールがあると安心する 他の習い事で、LINE に通所すると通知が届くので、将来的に全部の施設で通知システムが導入されればいいなと思っている	・マニュアルを策定し、研修や訓練を実施しています。 ・ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。 ・ご希望のある利用者様には、帰宅時の連絡や施設確認を行っています。 ・送迎車に置き去り防止装置の設置を予定しています。平時より確認や点呼を徹底しておりますが、さらに安全な体制を作ることができるようにしてまいります。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		

満足度	子どもが通所を楽しみにしているか	・下校が遅く利用頻度が減ってしまい残念に感じている。 ・イエス、ノーで答える質問ではなく、自分の気持ちや考えを問われる質問をされた時にきちんと自分の言葉で答えられるようになったので、通っていてよかったなと思いました。 ・気持ちをよく聞きとってくれ、寄り添ってくれている	・ご利用のご希望が可能な限りかなう形で調整出来ればと考えております。ぜひご相談ください。 ・児童に寄り添った支援を継続できるよう、今後も保護者や関係機関との連携を密に行っていきます。 ・児童の安心できる居場所となれるような事業所作りに尽力していきます。
	現状抱える不安や悩み	・子供が自分の事を相談出来るようになった。 ・学校外のお友達も出来て、千葉市の中学校のげんきキャンプ等他校の生徒との交流時に知り合いが多くいることを本人がとても喜んでいます。中学卒業後の進路についても知っている人がいない環境になることを不安に本人が感じておりますが、放課後デーサービスのお友達がいるかもしれないと話すとう向きな気持ちになるようです。 ・年代問わずに子供同士コミュニケーションが取れている所。子供、先生たちとの関わりの中で、コミュニケーション能力の向上に繋がっている。学習面においても、支援してくださり、大変助かっている。	
	通所を開始して良かったこと	・仲良しのお友達ができて、学校以外にもコミュニティができて、よかったです。 ・家庭でできない、友達との集団活動ができるので本人もそれを楽しみにしている ・コミュニケーションの練習になっていると思います。 ・はい、いいえでは答えられないような質問にも自分の気持ちをきちんとと言えるようになった。	
	今後期待したいこと	・進んで自分から勉強に取り組むようになりました。 ・本人の居場所になってくれていると感じます。 ・学校で嫌なことがあっても逃げ場があることで、とても助かっています。	